

どこに住んでも安心なまちに交通網整備を



コミュニティバス

「値上げ幅を縮小するため」と、市は乗り合いバス扱いになる有料化の検討をはじめます。

高齢者・障害者・学生・高校生以下の子どもなどは運賃を免除して実質無料となるよう、利用者の利便性を第一にするべきです。

高齢者から要望の多い、タクシー券の支給拡大やデマンドバス運行などについて、市は全く検討しようとして

バス・タクシー券・デマンドバス活用を

高速バスの重大事故を受け、貸し切りは大幅に値上げになります。無料の伊勢崎市のコミュニティバスは貸し切りバス扱いになり、運行委託料が1億円以上もあがります。

創業者支援制度始まる

業者団体が長年要望してきた創業前や創業後1年未満の法人・個人への融資が、中小企業活性化資金の対象枠を広げる形で始まります。

「自己資金比率を問わず、県保証協会の保証料への補助を行う等、制度上使用しやすいもの」と質しました。「担保や自己資金比率は定めませんが、保証料補助は無い。」とのこと。活用を進めながら、より良い制度に改善させていきたいと思います。

伊勢崎市は「山間地の事業」という立場を崩しません。平坦地の太田がデマンドバスを実施したのに、

「子が同居・隣居でも、仕事でとても送迎など頼めない。」「医療費よりタクシー代が高くて病院に行けない。」という人がいっぱいいます。

車の運転が危険でも公共交通が整わず無理して運転を続け、高齢者が加害者になってしまいう悲劇があとを絶ちません。

公共交通システムの総合的な構築という観点から、様々な手法の活用を検討し、具体化する時期に入っていると指摘しました。

新年度の主な新規・重要事業

☆継続・拡充★新規事業

- ★境いよく保育所新園舎整備 2億91千万円
- ☆住宅リフォーム助成金 1億円
- ☆ワクチン&子育てナビ実施 127万1千円
- ☆境町駅前赤レンガ倉庫の整備 2億4千万円
- ☆保育士加配事業費補助金拡充 1,368万円
- ★あずま南小学校周辺の浸水対策実施 1億750万円
- ☆児童扶養手当の拡充 9億6千万円
- ☆小・中就学援助費の拡充 1億1,034万5千円
- ★地域包括支援センター9圏域で設置・運営 1億5,200万円
- ★学校給食新調理場実施設計 3,002万4千円
- ★(仮称)障害者支援センター改築工事 2億円
- ★北公民館耐震補強工事 1億2千万円
- ★障害者就労・自立支援施設開設(西久保町) 4,100万8千円
- ★プール改築 三郷小工事 1億4100万円
- ★プール改築 名和小設計 550万円

エピソード 3

市は10月から研修を受けた無資格者に、ヘルパーの仕事をしてもらうといいます。「きめ細かなサービス」とソラゾラしい言葉を連ねて、賛成討論でたたえた保守系議員もいますが、根っこにあるのは安あがりの介護保険への改悪です。介護とは何かわからない悪行です。

市は、6月になったら事業者の説明会を開き、事業者が集めた就労希望者にその後研修を行うと言います。まにあうのか？おざなり感がぬぐえません。ヘルパーの専門性を無視し、「家事なら素人で良い。」という国言いなりの市政。介護の専門職として確立してきたホームヘルパーの歴史を無に帰すような今回の制度改悪を問題にしたのは、党議員団だけでした。(K)



北島元雄
24-8410
090-4065-2120
波志江町 3626



長谷田公子
25-1130
070-5564-6271
八幡町 44